さがみはらの未来をひらく教育考房

さがみ風っ子教師塾

☆さがみ風っ子教師塾・第３期がスタートしました

10 月１日（土）にさがみ風っ子教師塾・第３期 73 名の入塾式が行われました。

入塾式には、来賓の方々をはじめ、教育委員会の関係者が顔をそろえ、塾生は自分たちに寄せられている期待の大きさに、気持ちも新たにした様子がうかがえました。

的川泰宣塾長（ＪＡＸＡ名誉教授）は、当日アフリカ出張と重なり、入塾式には出席できませんでしたが、ビデオメッセージで塾生に大いなるエールを送りました。

＜的川塾長のメッセージ＞

いよいよ皆さんの大切な時が始まりましたね。

さがみ風っ子教師塾で、その大事な時期をご一緒できることを、とても嬉しく思います。

「今まで生きてきて、いつ頃が自分の人生で最も人間として変わっていった時期ですか？」ときかれたアンケートへの回答は、平均して「小学校の５年生」というものでした。

その年頃に、「世の中人のために尽くしたい」とか「将来は人を押しのけてでも出世したい」とか「大金持ちになりたい」というような、その人が生きてきた人生の過ごし方の基調になるようなことが、何らかの事件をきっかけに芽生えてくるらしいのです。

皆さんが教師という職業についてから後に出会う子どもたちは、そのような、人生で最も大切な時期を過ごしているわけです。そんな子どもたちが生き生きと明るく伸びていけるよう、そしてできれば皆さんとの出会いの中で、「心に火がつく」よう、誰よりも皆さん自身が燃え盛ることを期待しています。

教師塾での同期生は、ともに同じ志をもった仲間であり、これから切磋琢磨し合わなければならない存在です。そんな仲間と濃密な時間を共有して、大いに語り合い刺激し合ってください。教師塾の専任講師を軸とした先生たちは、皆さんの一人一人が人間として成長してくれるよう、これまでの経験を総動員してサポートと指導をしてくださいます。

どうか個性豊かに、精一杯の努力を重ねて、頑張ってください。

◇さがみ風っ子教師塾・第３期カリキュラムの紹介

さがみ風っ子教師塾では、的川塾長をはじめ、５名の専任講師のもと、９か月間、相模原市で教員になることをめざし学んでいきます。「さがみはら」独自の教育実践を体感し、学校現場で必要な児童・生徒理解、知識や技能を中心に、実践的な内容を学ぶため、１ｓｔステージから４ｔｈステージまで、テーマに沿って様々なカリキュラムが用意されています。

＜１ｓｔステージ＞

テーマ「学校（教師）の役割と期待される姿について学ぶ」

教師をめざす塾生のために、学校現場の先生や教育委員会の職員が、教師として必要な基本的な事項を講義します。また、相模原市の教育の特色を知るために、相模川ビレッジ若あゆに行って、体験学習のあり方についても学びます。

＜２ｎｄステージ＞

テーマ「相模原市の子どもの姿と学校（教師）の取り組みについて学ぶ」

相模原の子どもの今日的課題を各自が研究し、レポート発表します。また、子ども理解のために様々な視点からの講義もあります。

＜３ｒｄステージ＞

テーマ「『学級づくりと授業づくり』について学ぶ」

学級経営や授業作りの基本について学びます。学んだことを生かしながら指導案をつくり、模擬授業も行います。

＜４ｔｈステージ＞

テーマ「教育への情熱を語る」

これまでに学んだことを文章表現したり、意見交換したりすることにより、教育に対する自分の考え方を整理し、教員になる意志と情熱を確かめていきます。

塾生たちは平成 24 年６月９日までの９ヶ月間、講義やグループ協議、模擬授業などを通して、教師としてのやりがいに気づき、常に仲間とともに考え、語り合いながらお互いを高め合っていくことでしょう。

新着図書紹介　＝3階 図書室より＝

- **つなみ～被災地のこども 80 人の作文集**（文藝春秋）
- **ママのための防災ハンドブック**（学研）
- **大震災でわかった学校の大問題**（小学館）
- **地震 停電 放射能 みんなで生き抜く防災術**（小学館）

- **尾木ママの黙ってられない！**（尾木直樹／ベストセラーズ）
- **育児の教科書『クレヨンしんちゃん』**（徳田克己／福村出版）
- **子どもの学力に不安を感じたときに読む本**（陰山英男／小学館）
- **調べ学習の基礎の基礎**（ポプラ社）